

明日を担う

4月に立ち上げる新会社の名前は「フォーウッド」。ヤブシタの森忠裕社長から三つの「木」をもらい、自身の名前の「木」を足した「4つの木」という意味。森社長の激励のもと、若手27歳の若手社長が誕生する。新会社では、同社グループのウェブサイトや業務システム、販促ツール等を提案・制作する。同社空調製品のエンドユーザーに、SNS等を用いた広報支援も予定。今、ワクワクで充溢している。子供の頃からコンピュータ

が好きで、父が経営する歯科医院のウェブサイトを自作したほど。音楽も好きで、大学の時代はベースを担当しバンドに熱中。音作りにはディストーションを自作するほど凝った。大学3年、札幌の中小企業との食事をきっかけに出会ったのがヤブシタ。急激に成長する同社は「自分で考えて会社の形を創っていける」と映った。「森社長と会社を創り上げたら楽しいだろうな」とも。2014年、同社初の新卒社員として入社。1年目

新会社、グループ繋ぐ力に

から新製品の設計・開発に携わり、CADで製作図を作成。2年目は、同社に気流の解析技術を導入した。主力製品の防雪フードに「10αの価値を

なり「ヤブシタのファンが増える」と考えた。今、解析技術は同社最大の強みの一つ。3年目以降は広報も担当し、ウェブサイトの顔となった動画を制作。昨年のHVAC&R展で話題をさらったVRは、コンテンツも展示構成も手掛けた。醍醐味は「企画が形になる瞬間」にあるという。価値を生むのは「仕組み」と考える。新会社は「仕組み」を提案し、各社を繋ぐ力となり、総合的なグループシナジーに貢献するのが目標。4月からはウェブ、プログラミング等の制作技術を学ぶため大学院に通う。「他の世界の人も繋がりたい」。札幌市出身。



ヤブシタ
 東京営業所 営業部 冷熱課
 マーケティング・営業推進企画室
 齋木 涼介氏

出したい」と思ったのが始まり。「サンシェード」を気流解析すれば、同社独自の価値に